

《課題名》 当院における乳癌発見契機と進行度、治療法、予後との関係についての研究

《研究対象者》

西暦 2015 年 1 月から 2020 年 12 月に滋賀医科大学医学部附属病院 乳腺・一般外科において初期治療を開始した女性乳癌患者さん。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名： 当院における乳癌発見契機と進行度、治療法、予後との関係についての研究

研究期間： 倫理審査委員会承認日～2025 年 5 月 31 日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 外科学講座 谷 眞至

（２）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

乳癌検診による乳癌発見例と、他の要因による乳癌発見例の病期、治療法、予後に関する関係や、医療経済との関係について明らかにします。これを通じて乳癌検診が本当に利益があるのか明確にすることを目的とします。

（３）研究の方法について

《研究の方法》

2015 年 1 月～2020 年 12 月までに滋賀医科大学医学部附属病院 乳腺・一般外科において乳癌の初期治療を行った患者さんの、診療録から情報を収集し、乳癌検診発見例と自覚症状発見例との病期や治療法などの比較を行います。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

収集するのは、年齢、癌発見契機、検診受診歴、自覚症状、病期、組織診断、治療法とその期間、再発の有無、予後などです。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されないことがないよう、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 外科学講座 富田香

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2238

メールアドレス：hqsurge1@bell.e.shiga-med.ac.jp